

事業者(共同含む)の概要説明

- 株式会社球磨村森電力と球磨村森林組合は、共に球磨村の地域に根差した事業活動を展開
- 2022年に球磨村役場と共同で環境省「第1回脱炭素先行地域」に選定され、地域課題の解決に繋げる脱炭素事業を共同で実施
- 脱炭素先行地域事業では、球磨村に太陽光発電設備約2.5MW、蓄電池約2.2MWhを導入し、村内の電力需要の70~80%を再生可能エネルギーの地産地消スキームで賄う

再エネの
推進

電気代の
削減

地域への
貢献

地域課題
の解決

株式会社球磨村森電力(応募申請者:代表)

球磨村森林組合(応募申請者:共同)

住所

熊本県球磨郡球磨村大瀬1121球泉洞森の香房2F

熊本県球磨郡球磨村大字神瀬甲1130番地

代表者

中嶋 崇史

薮 初美

事業概要



今より安い電気・今よりCO2排出量の少ない電気を提供

第三者所有型の太陽光発電設置サービス(PPA)を提供

太陽光発電所の開発や太陽光発電所からの電力を調達

Forest



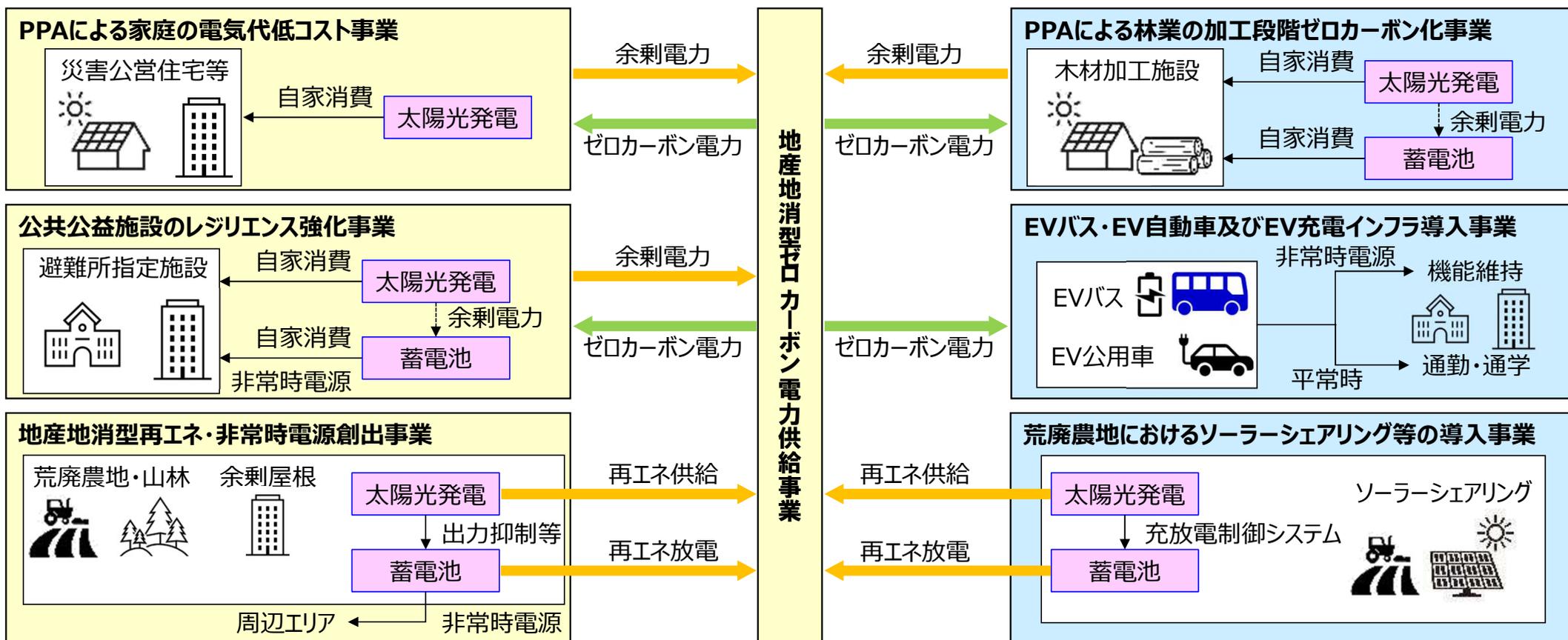
恵まれた球磨村の山林を有効活用し、森林整備事業、木材加工事業を展開

九州有数の大鍾乳洞『球泉洞』の運営

事業の全体スキーム(地域課題の解決スキーム)

- 民生部門の取組では、災害公営住宅や公共施設の脱炭素化に加え、その他施設の**ゼロカーボン化**を図るための取組を実施
- 役場庁舎や避難所指定施設においては、蓄電池を最大限導入することで**レジリエンスを強化**
- 民生部門電力以外の取組では、主要産業である林業の加工段階におけるゼロカーボン・低コスト化やソーラーシェアリングによる荒廃農地の再生等、**脱炭素と合わせて地域課題を解決**を狙う

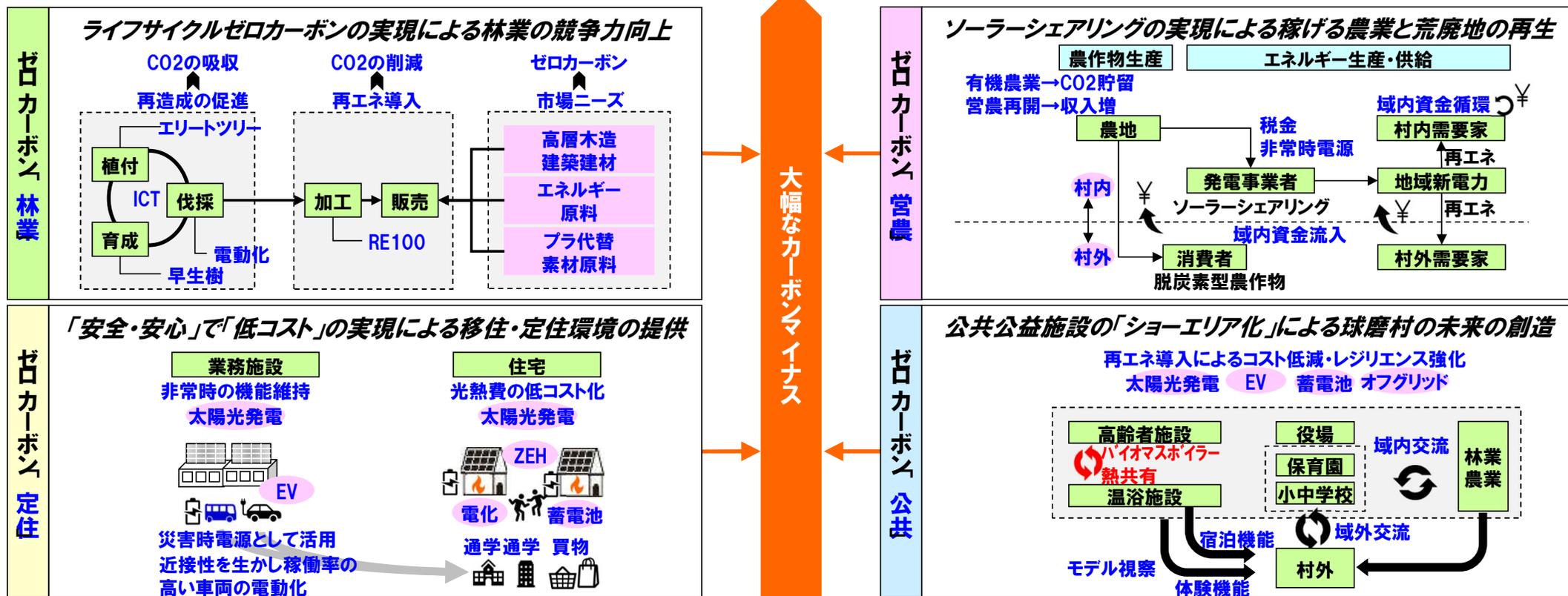
課題1:人口維持のための所得・雇用の向上、課題2:コミュニティを担う公営企業等の維持、課題3:域外への資金流出、課題4:豪雨災害等への備え・豪雨災害からの復興



事業の全体スキーム(地域脱炭素事業を通じて目指す姿)

- 2050年までに、最大の産業である「**林業**」、被災により村外に出た村民を含めた「**定住**」、集落等のコミュニティ維持・生活基盤の1つである「**営農**」、教育・医療・その他住民サービスである「**公共**」という4セクターにおいて、再エネ導入を中心にゼロカーボンを実現する。
- 本村の88%を占める森林資源を最大限に生かした「CO2の森林吸収」を武器に、球磨村が大幅なカーボンマイナスを実現し、都市部や大手民間企業のゼロカーボンをサポートする「ゼロカーボンサポートビレッジくまむら」を目指す。

都市部や大手民間企業のゼロカーボンをサポート「ゼロカーボンサポートビレッジくまむら」



地域貢献の効果事例

球磨電のこれまでの取組

電力供給先と連携した幼児教育機会提供

- 電力供給先である社会福祉法人で制作された木のおもちゃを球磨村の保育園に贈呈
- これにより、障がい者の働くことの継続と中山間地域で運営の苦しい保育園の子どもたちの幼児教育の機会を提供



環境学習イベントの実施

- 球磨電の収益を活用し、村内観光施設「球泉洞」で小学生向け環境学習イベントを支援
- 環境学習では温暖化の状況や冷房の省エネ方法などの学習がされ、学習後には鍾乳洞の入場券を球磨電が提供



収益の基金拠出

- 球磨村との協定に基づき、球磨電の収益の一部を球磨村の施設整備等に活用する基金に拠出
- 行政のSDGs推進パートナーとして球磨電が機能し、村内の継続的なまちづくりに寄与

持続可能なむらづくりの実現へ
株式会社森電力と協定

地域経済の有効活用等を中心としたむらづくりに関する協定が4月10日、球磨村コミュニティセンターで調印式が行われました。

協定相手相手の株式会社森電力は、会社設立から1年ほどで、小売電気事業者として登録され、4月から村内の事業所への電力供給を開始しています。

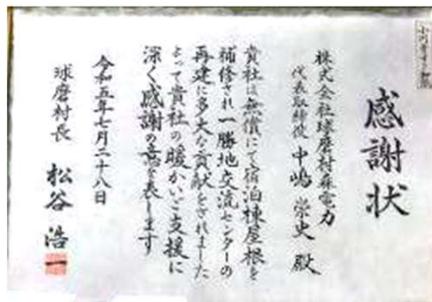
球磨電代表取締役は、「将来、村内で作られた再生可能エネルギーを村内で消費する仕組みづくりを追求することで、球磨村の活性化につながれば」と話しました。



脱炭素先行地域での取組

老朽化に伴う屋根の補修工事を無償実施

- 豪雨災害からの復旧・復興支援の一環として、温浴施設屋根の老朽化に伴う補修工事を太陽光発電設備の整備と合わせて無償で実施



村内で使用可能なオリジナル商品券の配布

- 村内の再エネ活用及び域内資金循環を目的として、電力供給を新規契約いただいた方に「森電力エコチェンジ商品券」を配布(商工会と連携)



地域課題解決と今後の提言

- 現在までに太陽光発電設備358kW、蓄電池395kWhを導入し、雇用創出(地域おこし協力隊の採用)、域内資金循環(地域商品券の発行)、災害復興(宿泊施設の屋根補修)、生活コスト低減(安価な電力供給)など地域課題の解決に貢献
- 人吉球磨地域の地域新電力と共同で発電BGの組成し、合わせて、現在構築中の蓄電池充放電制御システムを横展開することで、地域新電力が地域裨益型の発電事業を行う際のインバランスリスクを低減するモデルケースとなることを期待

脱炭素先行地域事業で設置した発電所(抜粋)

一勝地小学校
49.49kW、75kWh



高齢者福祉施設せせらぎ
60.60kW、75kWh



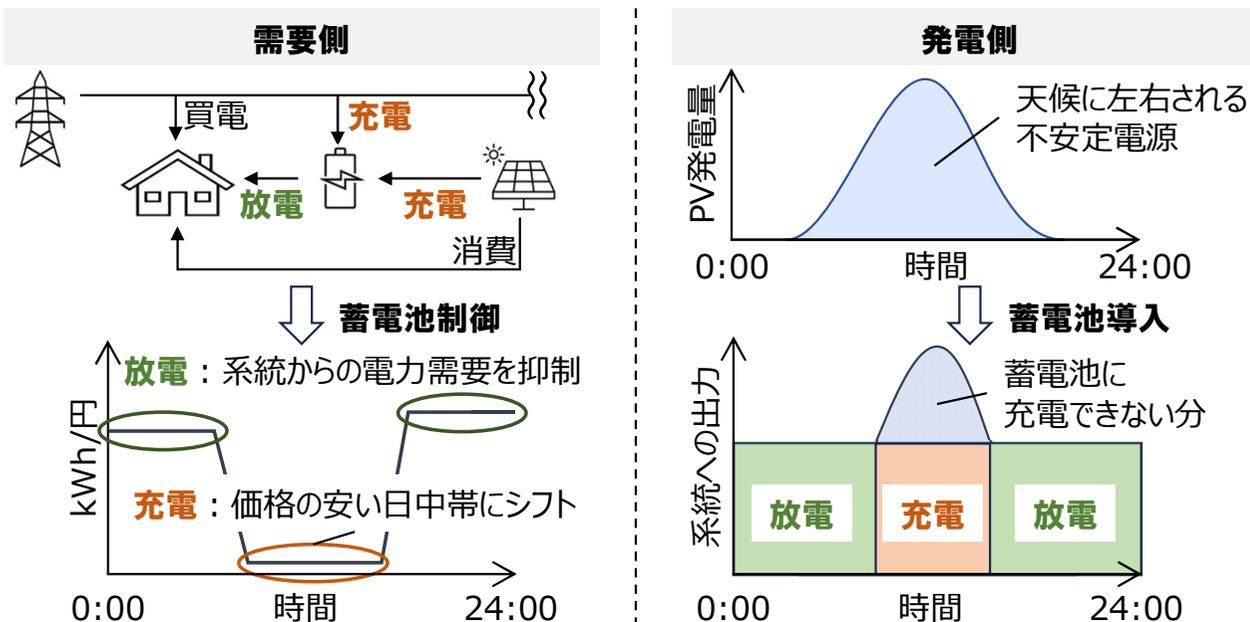
木質バイオマス施設
121.20kW、150kWh



一勝地温泉かわせみ
94.94kW、75kWh



需給管理・エネルギーマネジメントの見通し



人吉球磨地域の新電力と連携

地域新電力が地域裨益型の発電事業を行う際のインバランスリスクを低減するモデル



★需給管理・エネルギーマネジメントを支える技術

第1回脱炭素先行地域の球磨村で実証された蓄電池充放電システムを横展開

★人吉球磨地域新電力と発電バランスグループの組成